

第6回 日本脳ドック学会総会

*The 6th Annual Meeting of The Japanese Society for
the Detection of Asymptomatic Brain Disease*

プログラム・抄録集



会 長 赫 彰郎

日本医科大学 第二内科

1997年5月23日(金)・24日(土)
京王プラザホテル

第6回日本脳ドック学会総会

プログラム・抄録集

会長 赫 彰郎

会 期 平成9年5月23日(金)・24日(土)

会 場 京王プラザホテル
5F「エミネンスホール」、4F「錦」
〒160 東京都新宿区西新宿2-2-1
Tel. 03-3344-0111 (大代表)

事務局 日本医科大学第二内科
〒102 東京都千代田区飯田橋3-5-5
Tel. 03-3261-8331
Fax. 03-3238-9148

学会期間中本部 京王プラザホテル 4F「なつめ」
Tel. 03-5381-0350 (直通)

評議員

朝倉 哲彦	太田 富雄	大友 英一	小林 祥泰
櫻井恒太郎	篠原 幸人	高倉 公朋	高橋 睦正
舘野 之男	田中 隆一	赫 彰郎	東儀 英夫
戸谷 重雄	端 和夫	早川 徹	福井 仁士
藤島 正敏	松本 圭蔵	丸山 勝一	宮坂 和男
山口 武典	山田 弘	吉本 高志	

幹 事

中川 俊男 藤原 悟

(敬称略：五十音順)

ご挨拶

第6回日本脳ドック学会総会を平成9年5月23日（金）-24日（木）の2日間、東京で開催させて頂く事になり、大変光栄に存じております。

わが国の脳血管疾患の死亡率は、診断書書式の改正にもよりますが、再び心疾患を抜いて2位に浮上してまいりました。さらに、急速な高齢化社会の到来が、寝たきり老人や痴呆性疾患患者の増加につながり、この事は医学的のみならず社会的にも重要な問題となってまいりました。一方、画像診断機器の進歩、普及はめざましく、それに伴って脳疾患の予知・予防を目指して脳ドック診療を開始した施設も年々増加してきております。しかしながら、脳ドック診療の目指す無症候性脳疾患の診断とその対応は施設により多少異なる。そこで今回は、“脳ドック-脳疾患の予知・予防をめざして-”を主題に掲げまして、特別講演、招待講演と伴に三つのシンポジウムにて脳ドックの果たす役割について活発に討論して頂きたいと思っております。

シンポジウムの1.“脳ドックと未破裂脳動脈瘤”にて、必ずしも意見の一致を見ていない未破裂動脈瘤の対応についての発表、2.“老年期痴呆の早期診断”については、各施設で行われている痴呆性疾患の早期発見の試みについての発表、3.“無症候性脳梗塞の診断をめぐる”にては、ややもすれば過剰診断の傾向にある無症候性脳梗塞の診断のあり方についてご討論頂きます。何れも最近の知見をもとにホットな討論が行われるものと期待しております。

特別講演としては、佐野圭司先生に“脳ドックの現場-統計と考察-”と題した、先生の豊富な脳ドック診療経験を基にしたお話があるものと期待しております。また、招待講演として寺本明教授より、Pituitary incidentalomaの臨床についてのお話を予定しました。

本年も、68題の優れた内容の演題をお寄せいただきました。一般口演は2会場にて発表頂きますが、時間に多少ゆとりを取りましたので、活発な討論をお願い致します。素晴らしい季節である5月の東京へのお越しを心からお待ちしております。

第6回日本脳ドック学会総会
会 長 赫 彰 郎

日程表 5月23日(金)

A会場 (5F エミネンスホール)		座長	B会場 (4F 錦)		座長
8:55	開会の辞				
9:00	脳虚血病変・脳循環 (A-01~05)	東儀英夫	9:00	脳ドックに関する問題点 (B-01~04)	櫻井恒太郎
9:45	無症候性脳梗塞・ 経過観察例 (A-06~11)	篠原幸人	9:36	未破裂脳動脈瘤の診断I (B-05~09)	島 健
10:39	痴呆I (A-12~15)	小林祥泰	10:21	未破裂脳動脈瘤の診断II (B-10~13)	館野之男
11:15	痴呆II (A-16~19)	北村 伸	10:57	未破裂脳動脈瘤の経過 (B-14~16)	山田 弘
11:51			11:24	危険因子・増悪因子 (B-17~20)	朝倉哲彦
11:55	サテライトセミナー	中川俊男 藤原 悟	12:00		
12:55	議事総会				
13:20	特別講演 佐野圭司	赫 彰郎			
14:00	シンポジウムI 脳ドックと未破裂脳動脈瘤 (SI-01~07)	吉本高志 端 和夫			
16:00	招待講演 寺本 明	高倉公朋			
16:30	シンポジウムII 老年期痴呆の早期診断 (SII-01~06)	永積 惇			
18:00			18:00	会員懇親会	
			20:00		

日程表 5月24日(土)

A会場 (5F エミネンスホール)		座長	B会場 (4F 錦)		座長
8:50	自覚症状 (A-20~23)	大友英一	8:50	未破裂脳動脈瘤の治療I (B-21~24)	早川 徹
9:26	頸動脈病変など (A-24~28)	丸山勝一	9:26	未破裂脳動脈瘤の治療II (B-25~28)	松本圭蔵
10:11			10:02	脳動脈瘤・その他 (B-29~32)	太田富雄
10:30			10:38		
	シンポジウムIII 無症候性脳梗塞の診断 をめぐって (SIII-01~05)	澤田 徹			
12:00	閉会の辞				
12:05					
	ランチョンセミナー				
13:00					

参会者の皆様へ

1. 会場

- A会場 エミネンスホール（5F）：一般口演、シンポジウム、特別講演、サテライトセミナー
B会場 錦（4F）：一般口演、シンポジウム

2. 参会受付

- 1) 受付時間：平成9年5月23日（金）午前8時から
- 2) 受付場所：A会場（5F、エミネンスホール）前 総合受付
- 3) 参会費：10,000円
* プログラム綴じ込みの参会者カードに氏名所属をご記入の上、受付にご提出下さい。
- 4) 日本脳神経外科学会専門医の皆様へ：本会は、日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので、脳神経外科専門医の方は参会者カードに専門医番号をご記入下さい。
- 5) 日本脳ドック学会未入会の方へ：新入会員受付にて所定の手続きをお取り下さい。

3. プログラム・抄録集

各自ご持参下さい。学会当日、ご希望の方には一部1,000円で販売しますが、数に限りがありますのでご了承下さい。

4. 昼食案内

両日ともA会場にて、お弁当を御用意いたします。（無料）

5. 会員懇親会

第一日目終了後、B会場（4F、錦）にて会員懇親会を行います。ふるってご参加下さい。（参加無料）

6. 参会者の呼出など

総合受付にて承ります。

演者の皆様へ

1. 発表時間

発表時間は、一般口演、6分です。時間厳守をお願いします。
討論は座長の指示に従って下さい。

2. スライド

35mmスライドプロジェクターを2台用意致します。

演者は、発表の1時間前までに各会場スライド受付にスライドを提出して下さい。映写機はマスタータイプです。

スライドは講演終了後速やかに受領書と引き換えにお受け取り下さい。

3. その他

演者は前演者の登壇と同時に、次演者席に御着席下さい。

質疑、コメントをされる方は、マイクの前でお待ち下さい。

第6回 日本脳ドック学会総会 会場ご案内

会 場 京王プラザホテル
東京都新宿区西新宿2-2-1
TEL.03 (3344) 0111

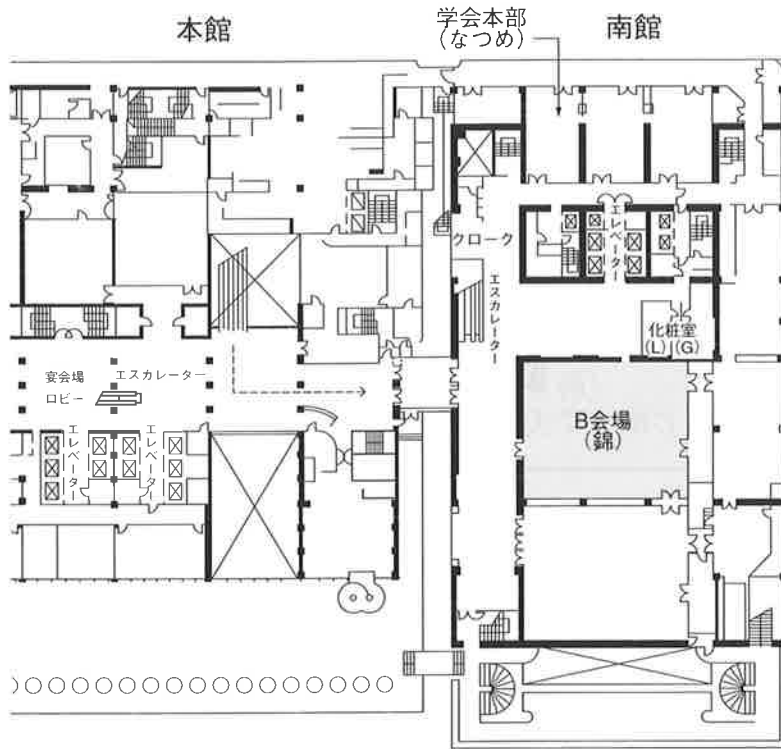


会場への交通

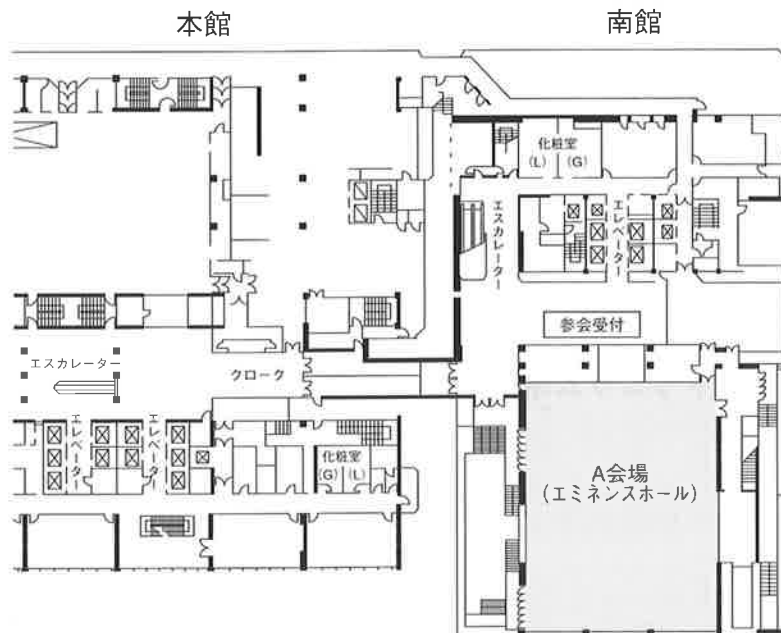
- ・ 電車をご利用の場合 JR・小田急線・京王線・地下鉄 新宿駅(西口)より徒歩約10分
- ・ お車をご利用の場合 首都高速四号線「新宿ランプ」利用

会場内案内図

● 4F



● 5F



受付
学術集会場

A会場前ロビー
A会場 (エミネンスホール, 5F)
B会場 (錦, 4F)

第一日目 5月23日(金)

A会場

8:55~9:00

開会の辞

会長 赫 彰郎

A会場

9:00~9:45

脳虚血病変・脳循環

座長 東儀 英夫

■A-01

lacuna, leukoaraiosis, état criblé—画像診断上の鑑別と出現頻度の検討—

千葉大学 脳神経外科 久保田基夫

■A-02

脳ドックにおける無症候性脳虚血病変—その診断と治療方針—

岩手医科大学 脳神経外科 鈴木 豪

■A-03

無症候性虚血性病変における脳糖代謝の検討

東海大学 神経内科 高橋 若生

■A-04

脳ドックで発見された無症候性脳虚血病変の検討

中村記念病院 脳神経外科 武田利兵衛

■A-05

脳動脈壁のガドリニウム増強効果の臨床的意義

市立泉佐野病院 神経内科 小川 真

無症候性脳梗塞・経過観察例

座長 篠原 幸人

■A-06

脳ドックにおける再検査時期の検討

岐阜県立下呂温泉病院 脳神経外科 林 克彦

■A-07

脳ドック受診者における脳卒中発症調査（第5報）

島根医科大学 第3内科 小林 祥泰

■A-08

脳ドック3000例にて発見された無症候性脳梗塞の予後追跡調査と抗血小板薬の効果

千葉脳神経外科病院 水上 公宏

■A-09

脳ドックにおける無症候性脳梗塞発現率と経過観察例の増悪率について

日本医科大学 第二内科 高橋真理子

■A-10

MRA上脳内主幹動脈多発性狭窄を呈した無症候性 lacuna 症例の follow up data

沖縄赤十字病院 脳神経外科 久田 均

■A-11

無症候性脳梗塞は年々増加するか？

景翠会 金沢病院 脳神経外科 川崎 隆

A会場

10:39~11:15

痴呆 I

座長 小林 祥泰

■A-12

痴呆専門ドックの開設～痴呆専門ドックとその意義～

津生協病院 脳神経外科 笠間 睦

■A-13

脳ドックおよび外来患者における浜松方式早期痴呆スクリーニングの成績について

日立製作所日立総合病院 脳神経外科 和田 美弦

■A-14

「物忘れチェック外来」からみた老年期痴呆

成田記念病院 神経内科 川畑 信也

■A-15

脳検診外来受診者における高次脳機能について

北里大学 精神科 大谷 義夫

A会場

11:15~11:51

痴呆 II

座長 北村 伸

■A-16

痴呆医療における脳ドックの役割とその方向性

北斗病院 脳神経外科 佐土根 朗

■A-17

高次機能障害と各種パラメーターの関係について

公立昭和病院 脳神経外科 指田 純

■A-18

未症候性脳梗塞患者における高次脳機能検査の検討

自治医科大学大宮医療センター 脳神経外科、脳ドック部 山田 直司

■A-19

脳ドックにおける痴呆の評価法について

虎の門病院 脳神経外科 土田 昌一

A会場

11:55~12:55

サテライトセミナー (機器メーカー)

座長 中川 俊男、藤原 悟

A会場

12:55~13:20

議事総会

A会場 特別講演

13:20~14:00

脳ドックの現場から—統計と考察—

佐野圭司

東京大学 名誉教授

富士脳障害研究所 理事長・病院長

座長 赫 彰郎

A会場 シンポジウム I

14:00~16:00

脳ドックと未破裂脳動脈瘤

座長 吉本 高志、端 和夫

■SI-01

脳ドックで発見される未破裂脳動脈瘤の自然経過と手術適応

蘇生会総合病院 脳神経外科 津田 永明

■SI-02

未破裂脳動脈瘤の自然経過と外科治療上の問題点

秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科 安井 信之

■SI-03

未破裂脳動脈瘤の分類と治療方針—臨床分類と術中所見からの検討—

広南病院 脳神経外科 長嶺 義秀

■SI-04

脳ドック以後の未破裂脳動脈瘤の診断治療の変化

大阪大学 脳神経外科 伊藤 守

■SI-05

脳ドックにおける未破裂脳動脈瘤の外科的治療について

中国労災病院 脳神経外科 山中 千恵

■SI-06

家族歴を有する群における未破裂脳動脈瘤スクリーニング検査の意義—
一効率的なクモ膜下出血防止をめざして—

新さっぽろ脳神経外科病院 脳神経外科 中川 俊男

■SI-07

脳ドックで発見される未破裂動脈瘤への対応

岡山旭東病院 脳神経外科 土井 章弘

コメンテーター：熊本大学・放射線科 興梠 征典

A会場 招待講演

16:00~16:30

Pituitary incidentalomaの頻度と治療方針—1000例の剖検下垂体の
検索より—

寺本 明

日本医科大学 脳神経外科

座長 高倉 公朋

老年期痴呆の早期診断

座長 永積 惇

■SII-01

脳ドックにおける認知機能スクリーニング法の検討—特にコース立方体テストの意義について—

島根医科大学 第三内科 岡田 和悟

■SII-02

神経心理機能テストを用いた老年期痴呆の早期診断と早期治療の効果

浜松医療センター 脳神経外科 中山 禎司

■SII-03

脳ドックにみる高次脳機能及び脳病変の加齢変化

武田病院 神経内科 八木 秀雄

■SII-04

高次機能障害とMRI虚血性病変との関連について—痴呆の早期発見のために—

千葉大学 脳神経外科 中崎 将

■SII-05

神経心理検査を用いた老年期痴呆の早期診断の可能性について

東京都神経科学総合研究所 リハビリテーション研究部門
松本 香

■SII-06

加齢による物忘れ患者と早期アルツハイマー病患者の鑑別に脳血流所見は有用か？

日本医科大学 第二内科 北村 伸

B会場

9:00~9:36

脳ドックに関する問題点

座長 櫻井恒太郎

■B-01

脳ドック受診者の動向と分析

日鋼記念病院 脳神経外科 宮町 敬吉

■B-02

当院における脳ドックシステムの工夫

相模原中央病院 脳神経外科 中野 次郎

■B-03

未破裂脳動脈瘤検診の費用効用分析

埼玉工業大学 基礎工学課程 飯沼 武

■B-04

脳疾患の予防的予（施）術をめぐる医療訴訟の実態—インフォームド・コンセントの重要性—

医療法人 健和会 うえだ下田部病院 脳神経外科 山口研一郎

B会場

9:36~10:21

未破裂脳動脈瘤の診断 I

座長 島 健

■B-05

0.5TMRAとCTAのコンビネーションによる未破裂脳動脈瘤の検出

(財)脳神経疾患研究所附属南東北病院 脳神経外科 小泉 仁一

■B-06

未破裂脳動脈瘤のMRAと3D-CTAによる2段階スクリーニング

大阪医科大学 脳神経外科 出口 潤

■B-07

Target CT Angiography (Target CTA) による未破裂脳動脈瘤の診断

札幌医科大学 脳神経外科 田邊 純嘉

■B-08

未破裂脳動脈瘤の二次検査としての3次元CT血管造影検査(3D-CT)の有用性

山田胃腸科外科医院 総合検診センター 村松 忠

■B-09

内頸動脈硬膜輪近傍動脈瘤のMRIによる診断

社会保険広島市民病院 脳神経外科 三島 宣哉

B会場

10:21~10:57

未破裂脳動脈瘤の診断 II

座長 舘野 之男

■B-10

未破裂脳動脈瘤スクリーニングにおけるconventional MRAとMTC-MRAの診断精度の検討

千葉大学 脳神経外科 久保田基夫

■B-11

MRAngiographyによる脳動脈瘤の診断—描出タイプ別の検討—

五日市記念病院 脳神経外科 茶木 隆寛

■B-12

広範囲Multi-Slab MRAの重要性(頭頸部血管撮影専用コイルによるMRA Screening)

北海道大学 脳神経外科 石川 達哉

■B-13

脳ドックにおける血清プロテアーゼ測定の意義;未破裂動脈瘤の補助診断として

公立昭和病院 脳神経外科 永田 和哉

B会場

10:57~11:24

未破裂脳動脈瘤の経過

座長 山田 弘

■B-14

脳ドックにおける動脈瘤スクリーニングの問題点～追跡調査の重要性について～

倉敷平成病院 脳神経外科 須方 肇

■B-15

無症候性未破裂脳動脈瘤の自然経過—中大脳動脈瘤の破裂危険因子—

松山市民病院 脳神経外科 須賀 正和

■B-16

脳ドックで発見された手術適応疾患患者の経過

宇部興産中央病院 脳神経外科 黒川 泰

B会場

11:24~12:00

危険因子・増悪因子

座長 朝倉 哲彦

■B-17

無症候性脳梗塞と増悪因子との関係

藤枝平成記念病院 BRAIN MEDICAL CHECK UP CENTER 脳神経外科
平井 達夫

■B-18

無症候性脳梗塞は脂質過酸化亢進状態にある

三井記念病院 総合検診センター 山門 実

■B-19

潜在性脳梗塞の危険因子—パーソナリティーとライフスタイルを中心として—

東京慈恵会医科大学 健康医学センター 豊原 敬三

■B-20

40歳以下の若年脳ドックの結果から

黒沢病院 脳神経外科 岡田 慶一

B会場

18：00～20：00

会員懇親会

第二日目 5月24日(土)

A会場

8:50~9:26

自覚症状

座長 大友 英一

■A-20

末梢前庭障害や神経症状を伴わない回転性眩暈症例のMRI所見の検討
春日部秀和病院 脳神経外科 坂口 新

■A-21

後頭蓋窩無症候性虚血病変の臨床的意義—めまい症例を中心に—
社会保険高岡病院 脳神経外科 長堀 毅

■A-22

非特異的自覚症状を有する患者の脳血流量について
日本医科大学 第二内科 屈 秋民

■A-23

無症候性またはTIAを示した内頸動脈や中大脳動脈閉塞症例の検討
福井総合病院 脳神経外科 辻 哲朗

A会場

9:26~10:11

頸動脈病変など

座長 丸山 勝一

■A-24

ヘリカルCTによる頸動脈閉塞性疾患のスクリーニングテスト
十和田市立中央病院 脳神経外科 畑中 光昭

■A-25

脳ドックにおいて頸動脈超音波断層法により検出される頸動脈動脈硬化性病変の意義
慶應義塾大学 脳神経外科 堀口 崇

■A-26

無症候性脳梗塞患者における頸動脈病変と梗塞部位
東京女子医科大学附属脳神経センター 神経内科 内山真一郎

■A-27

脳ドックにて発見された無症候性脳梗塞と頭蓋内外動脈硬化との関連およびその危険因子

東松山市立市民病院 脳神経外科 竹内東太郎

■A-28

閉塞性脳血管障害とthrombin-antithrombin III複合体

総合大雄会病院 脳神経外科 三輪 和弘

A会場 シンポジウム III

10:30~12:00

無症候性脳梗塞の診断をめぐって

座長 澤田 徹

序論 無症候性脳梗塞の診断上の問題点

(問題点1 「無症候性」の意味に関して)

■SIII-01

無症候性脳梗塞の診断をめぐって

—高次大脳機能障害をどこまで含めるか—

京都府立医科大学 神経内科 中島 健二

(問題点2 無症候性脳梗塞巣確認に関して)

■SIII-02

無症候性脳梗塞の診断上の問題点

—梗塞巣の画像診断上の問題点は?—

秋田県立脳血管研究センター 放射線医学研究部 奥寺 利男

■SIII-03

白質のびまん性変化をどう考えるか

島根医科大学 第3内科 小林 祥泰

■SIII-04

病理学的立場からみた白質の虚血性変化は?

国立循環器病センター 緒方 絢

(問題点3 無症候性脳梗塞の病態的特徴に関して)

■SIII-05

「無症候性」と「症候性」脳梗塞とは病態的に何が違うか

東海大学 神経内科 篠原 幸人

A会場

12：00～12：05

閉会の辞
会長 赫 彰郎

B会場

8:50~9:26

未破裂脳動脈瘤の治療 I

座長 早川 徹

■B-21

小さな未破裂脳動脈瘤の治療方針について

釧路脳神経外科病院 脳神経外科 奥山 徹

■B-22

MRAで診断された未破裂脳動脈瘤—手術例と非手術破裂症例の検討—

磯部クリニック 磯部 逸夫

■B-23

未破裂内頸動脈前床突起近傍動脈瘤の治療成績

久留米大学 脳神経外科 島本 宝哲

■B-24

脳ドックにおける未破裂脳動脈瘤の術中所見と転帰より見た手術適応について

北斗病院 脳神経外科 井出 渉

B会場

9:26~10:02

未破裂脳動脈瘤の治療 II

座長 松本 圭蔵

■B-25

5mm未満の未破裂脳動脈瘤の手術所見の検討

福井県立病院 脳神経外科 柏原 謙悟

■B-26

未破裂脳動脈瘤の治療の現状—最近の脳動脈瘤調査から—

千葉大学 脳神経外科 小野 純一

■B-27

未破裂脳動脈瘤症例における術前後脳血流量の検討

戸田中央総合病院 脳神経外科 竹山 英二

■B-28

未破裂脳動脈瘤手術におけるcoating例の検討

函館赤十字病院 脳神経外科 松崎 隆幸

B会場

10:02~10:38

脳動脈瘤・その他

座長 太田 富雄

■B-29

脳ドックにおける無症候性トルコ鞍内病変の診断—MRI/T1WI,coronal image
による評価を中心に—

脳神経外科聖麗メモリアル病院 河野 拓司

■B-30

偶然発見されたトルコ鞍近傍病変の診断と治療

広島大学 脳神経外科 隅田 昌之

■B-31

MR angiography による脳検診半年後にくも膜下出血となった一症例

防衛医科大学校 救急部 柳川 洋一

■B-32

脳ドックにて診断されたvascular malformation (AVM, cavernous angioma,
venous angioma) の8例

西宮市立中央病院 脳神経外科 本崎 孝彦